

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第318回

平野歩夢

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年8月8日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

メダルのために戦うというよりも、 自分と戦うことが一番重要。

平野 歩夢は、日本のスノーボーダー、スケートボーダー。2022年北京オリンピック金メダリスト。2014年ソチオリンピック・2018年平昌オリンピック2大会連続銀メダリスト。2020年東京オリンピックスケートボード日本代表。2022年現在、冬季オリンピックにおける日本代表選手としての最年少メダル獲得記録保持者である。



Column

今回の言葉は、みなさんの記憶にも新しい平野選手が見せた北京冬季オリンピックでの圧巻のパフォーマンスからも理解できるのではないのでしょうか。自分が考える理想の技に挑戦して見事にやってのけたあの姿は正に自分と戦っているように見えました。彼の言葉で今回取り上げたものの他に印象的なものとして『1つの技で2年かかることも今までであった』というものもあります。“自分との戦いは長期戦になっても絶対に妥協しない！”といった今回の言葉との繋がりを感じ、世界一になる人は、やはり『芯』がブレないなと感心しました。この『自分と戦う』という言葉は、表現を少し変えた形で非常に多く存在します。それほど自分と戦うことは重要であり、難しいことだと改めて感じます。

人生において自分と戦うという瞬間は何度となく訪れると思います。もちろん私にもその瞬間はこれまでに何度も訪れたことを思い出しながら改めて考えてみたのですが、最初に思い浮かんだことは『人生は常に自分との戦いなのだ』ということでした。大げさな言い方ですが、これまで私たちは“最終的”には自ら選択したことを実行します。人の意見に影響されて選択をしたとしても実行するのは本人です。そういう意味では『責任を持つ』ということが自分との戦いの意味なのかもしれません。たとえ失敗したとしても“ただの失敗じゃ終わらせない！”というガッツも必要であり、『戦わない』という選択であったとしても『自分はこう思うから！』というブレない信念も必要だと思います。『そもそも戦ってどうする？』と感じてしまう時や、戦うことさえ許されない時もあります。心が折れてしまいそうになる瞬間が次々に襲って来る中、日々努力を続けた分だけ背負うものも増えていき、大きなプレッシャーも生まれます。そんな時、あなたならどのような選択をしますか？きっとその選択に正解はありません。自分と向き合い、仲間と向き合うことで絞り出した答えに『本気』であること。これが一番大切なのだと思います。わかりやすく結果が出ている人がすごく特別ではありません。みなさん全員がすごく特別なのです！ポジティブな選択をして自分を驚かせるような未来を切り拓きましょう！